

千葉大学医学部附属病院で植込み型除細動器の 植込み手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年2月25日

循環器内科

循環器内科では、植込み型除細動器(ICD)植込み術後の患者における予後観察研究に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2008年1月1日から2024年12月31日の間に当院で植込み型除細動器の植込みをされた方

1. 研究課題名

「植込み型除細動器植込み後の患者における予後観察研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月1日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究では、植込み型除細動器(ICD)植込み術を行った患者さんにおける、危険な不整脈の有無、デバイスに関連した合併症、心不全入院の有無や予後を調査するとともに、カルテ上のデータから得られたデバイスデータや背景疾患、内服薬や注射薬等の情報を収集させていただきます。この結果は ICD 植込み患者様の予後を予測する上で有用な知見となると考えられます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、基礎疾患、内服薬や注射薬

の薬剤情報、ICDに関するデータ（作動歴や不整脈イベント）などの情報を収集します。

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：千葉大学医学部附属病院 循環器内科 准教授 近藤 祐介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院不整脈先端治療学において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科 看護師 鳴海 頌子

循環器内科 准教授 近藤 祐介

043（226）2847 内線 5260